

2023年度 事業計画

リーダーシップの共立



学校法人 共立女子学園

[目 次]

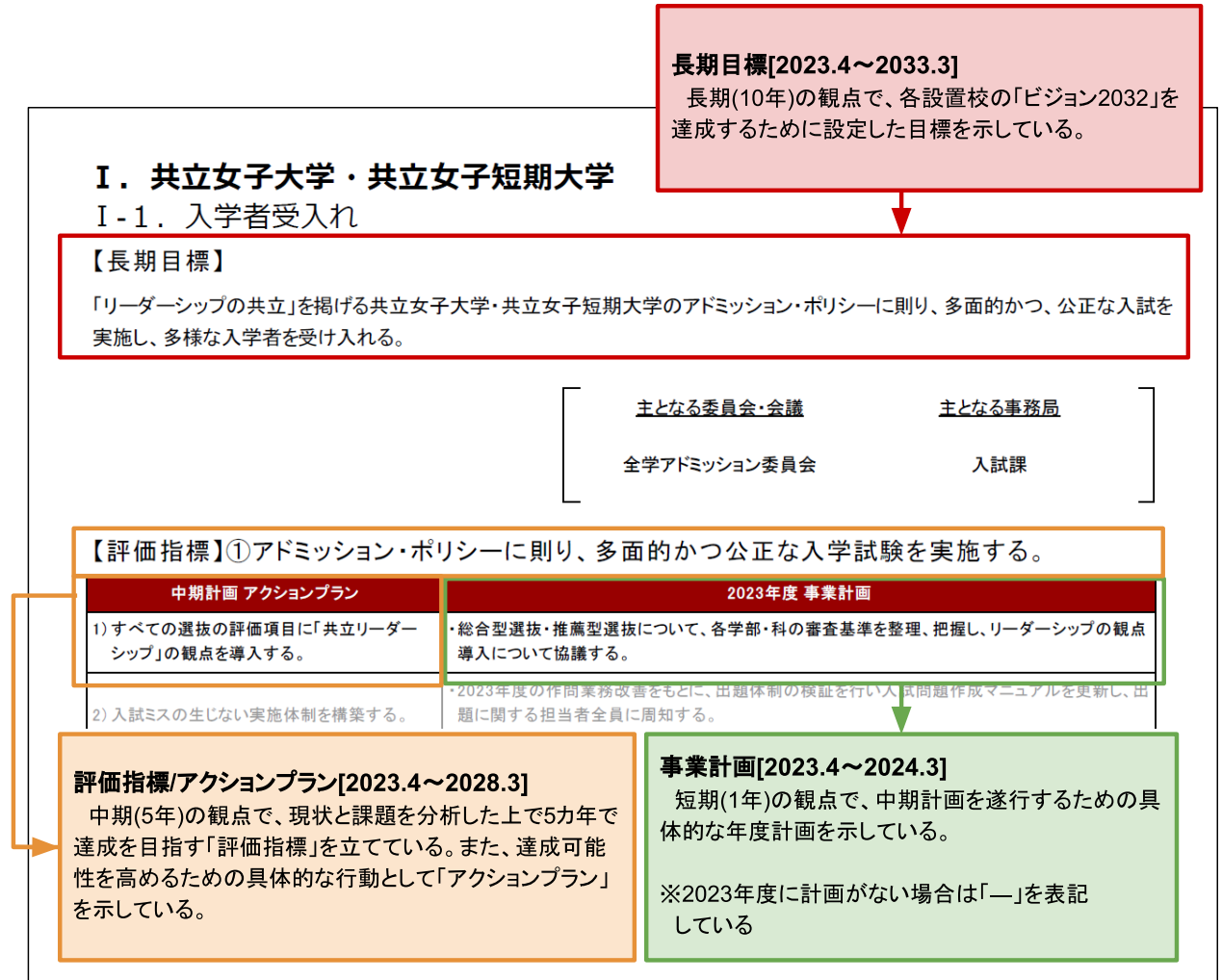
1. 第三期中期計画との連動性と構造	2
2. 2023年度 事業計画について	3
I. 共立女子大学・共立女子短期大学	3
I-1. 入学者受入れ	3
I-2. 教育・研究	5
I-3. 国際化	10
I-4. 学生生活	11
I-5. 学修支援・授業支援	14
I-6. キャリア形成支援	16
I-7. 社会連携・貢献	18
I-8. ブランディング・広報	20
I-9. 内部質保証	21
I-10. 管理運営	22
II. 共立女子中学高等学校	23
II-1. 入学者受入れ	23
II-2. 教育改善・教育の質的向上	24
II-3. 生徒指導・進路支援	25
II-4. 管理運営	27
III. 共立女子第二中学校高等学校	28
III-1. 入学者受入れ	28
III-2. 教育改善・教育の質的向上	29
III-3. 生徒支援・進路支援	31
III-4. 管理運営	33
IV. 共立大日坂幼稚園	34
IV-1. 園児募集・園児確保	34
IV-2. 教育改善・教育の質的向上	35
IV-3. 保護者との連携・協力	36
IV-4. 管理運営	37
V. 共立女子学園	38
V-1. 財政	38
V-2. 組織・人材	39
V-3. 施設設備	41
V-4. 法人ガバナンス	43
3. 2023年度予算の概要	44
(1) 2023年度予算編成方針	44
(2) 資金収支予算(表1)	44
(3) 事業活動収支予算(表2)	45
(4) 中期計画予算(表3)	45

1. 第三期中期計画との連動性と構造

第三期中期計画の構造は、10年後にどのような共立女子大学・共立女子短期大学、共立女子中学高等学校、共立女子第二中学校高等学校、共立大日坂幼稚園又は共立女子学園でありたいかを示した「ビジョン2032」、ビジョンを達成するための「長期目標」、長期目標ごとに5年間のKPIを定めた「評価指標」、評価指標の達成のために具体的に何をするかを明らかにした「アクションプラン」となっております。また、第三期中期計画に基づき、単年度で実施する計画をまとめたものが「事業計画」です。

第三期中期計画と事業計画の連動性を高め一体的に進めていくことで、変化の激しい時代においても経営の基軸を見失うことなく、年度計画、ひいては第三期中期計画を達成していきます。

【本書での表記の仕方】



2. 2023年度 事業計画について

I. 共立女子大学・共立女子短期大学

I-1. 入学者受入れ

【長期目標】

「リーダーシップの共立」を掲げる共立女子大学・共立女子短期大学のアドミッション・ポリシーに則り、多面的かつ、公正な入試を実施し、多様な入学者を受け入れる。

主となる委員会・会議	主となる事務局
全学アドミッション委員会	入試課

【評価指標】①アドミッション・ポリシーに則り、多面的かつ公正な入学試験を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) すべての選抜の評価項目に「共立リーダーシップ」の観点を導入する。	・総合型選抜・推薦型選抜について、各学部・科の審査基準を整理、把握し、リーダーシップの観点導入について協議する。
2) 入試ミスの生じない実施体制を構築する。	・2023年度の作問業務改善をもとに、出題体制の検証を行い入試問題作成マニュアルを更新し、出題に関する担当者全員に周知する。 ・外部発注も含め、一般選抜出題体制を検討する。
3) 多様な背景を持った受験生を対象とする選抜方式を導入し、多様な入学者を受け入れる。	・遠隔地の高等学校を対象とする選抜方式の立案のため、共立女子大学・共立女子短期大学と高等学校との協定・交流を協議する。
4) 新学習指導要領に基づき入試科目の対応をする。	・2025年度入試の出題科目、出題範囲の予告内容に基づき、各科目の出題者と協議し、作成準備と詳細の見直しを行う。
5) 一般選抜における多面的評価を継続的に導入し、多様な入学者を受け入れる。	・共立女子短期大学の一般選抜における多面的評価の方法について検討する。 ・共立女子大学全体での取組について求める能力の定義を検証する。

【評価指標】②共立女子大学は、入学者数を適切に管理し、入学者の質を保持する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 入試のWEB化を進め、戦略的に志願者数確保を目指す。	・総合型選抜・学校推薦型選抜にWEB出願を導入する。 ・入学手続きのWEB化に当たり、具体的な課題を各部署と協議し解消する。 ・効果的・戦略的な出願システムを取り扱っている業者を選定し、各社の出願サイトの特長を整理する。
2) 継続的な志願者を送り出す連携校を増やし、安定的な志願者数を確保する。	・連携校に対し2023年度入試結果のフィードバック及び2024年度指定校推薦の情報提供を行う。 ・連携校である神田女学園高等学校とより良い入学者受入れの施策について協議する。

【評価指標】③共立女子短期大学は、総合型選抜・学校推薦型選抜に重点を置きながら、一般選抜も含め入学定員を充足する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 受験生確保に資する総合型選抜のあり方を年度ごとに検証し、柔軟に制度を改編する。	・総合型選抜Ⅱ期の志願者数増加について要因分析を行い、それをもとに月ごとの個別相談を通じて総合型選抜志願者につなげる。 ・次年度入試に向けて、試験科目の変更について検証する。
2) 新規指定校の拡充により入学者数増加を目指す。	・連携校の協力を得て指定校推薦入学者の定性分析を行い、指定校の拡充を模索する。

【評価指標】④共立女子大学大学院は、諸施策を実行して、入学者を増加させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学大学院への学内進学を強化する。	・共立女子大学大学院学内推薦募集要項を分かりやすく利用しやすい要項にリニューアルをする。
2) 多様な大学院受験生(一般、内部進学者、社会人、留学生)のニーズに合わせた入試方式・試験科目を導入する。	・外国人留学生の日本語修得レベルを把握できるように関係する出願書類について整備する。 ・社会人、留学生の試験科目数が多い専攻について、妥当な科目数の検証を行う。

【評価指標】⑤併設校との連携を深め、共立女子高等学校、共立女子第二高等学校出身者の入学率を上げる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 高大連携により、共立女子高等学校・共立女子第二高等学校(共立進学コース)からの進学に最適な入試制度を確立する。	・共立女子第二高等学校共立進学コースに適した入試制度を立案し、共立女子第二高等学校及び共立女子大学内でのコンセンサスを得る。

【評価指標】⑥入学前・選抜時・入学後データを分析し、入学者選抜を不断に改善する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) データ分析に基づき、一般選抜入試制度の改編を行い恒常的な志願者数確保を目指す。	・一般選抜の新方式導入に伴う、募集要項・出願システム等の改編を行う。 ・2025年度一般選抜の新制度を検討する。
2) 早期進学意向の高まりを踏まえ、データ分析に基づいて総合型選抜・学校推薦型選抜の拡充・改編を図る。	・学校推薦型選抜(公募制・卒業生子女)の併願可をPRする募集要項の作成と、出願システムの改編を行う。 ・総合型選抜、学校推薦型それぞれの課題を整理し、学生募集に効果的な入試方式を検討する。

I-2. 教育・研究

【長期目標】

各研究科・学部・科で研究活動に基づいた専門的な知識・技能を教授し、所属に関係なく全学生が「共立リーダーシップ」を発揮できるようにする。

主となる委員会・会議 研究科長・学部長・科長会 全学教育推進機構 総合文化研究所	主となる事務局 教務課 大学企画課 教育学術推進課
--	---

【評価指標】①学修者本位の教育を実現するために、カリキュラム・マネジメントを徹底し、順次性ある体系的な教育課程を編成する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学修者本位のカリキュラム編成の実現のため、カリキュラム・マネジメントの運用を徹底する。	・自己点検・評価に基づく各学部・科の課題を整理する。 ・カリキュラム・マネジメントを効果的に進めるための点検・評価に必要な活用方法を共有する。 ・適正な科目数、コマ数の選定等のルールを策定し、周知徹底する。

【評価指標】②教員組織の編成方針に基づき、適正に教員を配置する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 各学部・科の専門科目及び教養科目の科目数等を整理し、設置科目における教員の責任体制を構築する。	・他大学の状況について調査する。 ・各学部・科の主要授業科目の方針を策定する。 ・設置科目の教員の責任体制の方針を策定する。

【評価指標】③全学教育推進機構は共立女子大学・共立女子短期大学の教育の質を高めるために継続的な改革・改善を推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 機構、各センターの業務を推進するための組織を整備する。	・機構の目的達成を目指して、機構業務に専従する教職員を配置する。 ・機構の目的達成を目指した予算整備やスペースの設置の検討を行う。

【評価指標】④研究科・学部・科、専門・教養を問わず、学生が「共立リーダーシップ」を身に付け、発揮できる科目を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) リーダーシップ教育の手法を取り入れた科目を拡充する。	・全学生必修の「基礎ゼミナール」において、担当教員が「共立リーダーシップ」の解説及び手法を実践する。 ・カリキュラムマップにおいて、ディプロマ・ポリシーに定める資質、能力のうち、「リーダーシップ」の開発を目指す科目について、授業方法の確認、受講学生の状況を収集する。
2) 教養教育科目の充実を通して、すべての学生が「共立リーダーシップ」を身に付ける科目を受講する。	・共通教育センターにおいて、2025年度からのリーダーシップ開発科目の増加を視野に、カリキュラム変更を検討する。 ・「基礎ゼミナール」「課題解決ワークショップ」のガイドライン更新後の実施結果に関する点検、評価を行う。 ・「現代社会の諸課題」を担当する教員に対するFD実施の点検、評価を行う。

【評価指標】⑤各研究科・学部・学科における自己点検・評価をもとに、特色ある教育・研究活動を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) [家政学研究科] 家政学に関する専門的能力に加え、高度な汎用的能力を培う組織的かつ学際的な教育・研究(活動)を行い、アセスメントプランを実施して継続的な改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて策定した新カリキュラムに移行し、アセスメントプランにより教育・研究活動を評価し、継続的な改善に取り組む。 ・家政学研究科各専攻の枠組みを越えた連携を促進する共通科目の開講と研究交流会等の開催により、文理融合の学際的な教育研究を推進する。
2) [家政学部] 家政学部は被服学科・食物栄養学科・児童学科の3学科体制となるため、生活者の視点に立った学問を追求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家政学部の3学科において実施している子育て広場「はるにれ」における学生ボランティアの学びをアンケート等によって分析し、共立女子大学ホームページの家政学部ページにおいてアンケート調査結果とともに参加学生のインタビューを掲載する。また、ボランティア学生の報告会を開催し、生活者の視点に立った学びについて学生と教員が共に学び合う機会を設ける。
3) [家政学部被服学科] リーダーシップ教育を強化し、学科の特色を反映する教育研究環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーに掲げるリーダーシップ能力を養成するために、PBL型授業を強化する。 ・設備、備品等の教育研究基盤を整備して、学科の特色を反映する教育研究を充実させる。
4) [家政学部食物栄養学科] 主体的な学修意欲を高めるべく自らが食のエキスパートであることをより意識させ、共立女子大学と社会との連携を強化し、日々発展する科学技術に適應できるように、学生の学カレベルを充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学修意欲を高めるための講演会や研究会を開催する。 ・新しい資格の導入と、資格取得に向けたサポート体制を構築する。 ・時代に沿った実験手法に対応するための機器の更新と充実を図る。
5) [家政学部児童学科] 児童学に関する専門科目を学ぶ楽しさと意義を発見するとともに、現代の子どもや保護者を取り巻く社会状況を理解し、それに対応できる保育者、教育者として貢献できるように、学生の知識・能力と意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次から実際の保育場面を見学する機会を設定し、児童学に関する専門科目を学ぶ動機づけにつなげる。 ・アクティブラーニングを積極的に取り入れ、ルーブリックの作成と活用により、学生の知識・能力と意欲を評価する。
6) [文芸学研究科] 研究活動の活発化と成果の可視化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規共通科目を開講し、研究に取り組む上で必要な基礎的スキルを着実に習得させる。 ・授業や論文指導の課題や改善方法を研究科全体で共有する機会を用意する。
7) [文芸学研究科] 研究効率の向上のため、研究に打ち込める環境の充実を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室の研究環境を整える。 ・図書館との連携を検討する。 ・演習室の授業環境を整える。
8) [文芸学部] カリキュラム改定を行う。科目の改廃のみならず「メジャー・サブメジャープログラム」を導入し「何が学べるか」をわかりやすくする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度実施の「メジャー・サブメジャープログラム」を具体化する。 ・2025年度実施の新カリキュラム策定を進め、変更概要をまとめる。
9) [国際学研究科/国際学部] 2023年度より導入される学部、研究科の新カリキュラムの効果、成果についてデータ等を用いて検証することによって、必要な改善を実施につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・順次性、系統性を強化しつつより主体的な学修を促すため、2024年度から「メジャー・サブメジャー制」を導入すべく準備を進める。 ・2023年度入学者より新カリキュラムを実施するとともに、その効果検証に必要なデータの収集を開始する。
10) [国際学部] 「世界にアンテナを張る」を合言葉に、それに対応する新たな試みを入学試験、入学前教育、さらに入学後の学修において実施し、学修意欲の向上と対外的な訴求力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前教育において、英語強化プログラム及び「ニュース時事能力検定」を実施する。 ・総合型選抜、公募制推薦試験において、「ニュース時事能力検定」を加点要因として追加する。 ・1年次、3年次対象に「ニュース時事能力検定」を実施し、その成績をカリキュラム改善に向けて資料として活用する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
11) [国際学部]GSEプログラムや留学支援により異文化環境でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・GSEプログラム履修学生に対し、すでに開始しているIELTSの受験を実施し、学生個人の成果を確認するとともに、総合的指標による評価と合わせ、プログラムの点検及び必要な改善のための資料とする。 ・GSE上級生を下級生科目のSAとして活用し、学生のインクルーシブ・リーダーシップを育成する。 ・GSEプログラムのメリットや成果を積極的に発信し、志願者の増加につなげる。 ・「国際事情・フィールドワーク」を複数件実施し、異文化交流におけるリーダーシップ能力を身に付ける機会を提供する。
12) [看護学研究科/看護学部]受験生の増加を目指し、学部、研究科の魅力を高めるための、新たな資格取得コース設置の検討、準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生・在校生を対象とした養護教諭、助産師課程、CNS(専門看護師)コース等各々のニーズ調査をする。 ・養護教諭、助産師課程、CNS(専門看護師)コース設置校にヒアリングし、実現可能性を検討する。
13) [看護学部]看護シミュレーションルーム(仮称)の運営・活用を軌道に乗せ、コロナ禍における質の高い実践教育を遂行するとともに、VRシステムやシミュレーションシステム等のさらなる整備を進め、特色ある教育活動として発信していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会を設置する。 ・広報動画を作成し公開する。 ・先駆的実践校を視察する。 ・学部開設時に設置したシミュレーターをアップデートする。
14) [看護学部]学生の学力と学修習慣の多様性に対応した新たな教育プログラム、並びに国家試験支援体制を構築・展開することで、学生の学修意欲、主体的学修、学生相互の学び合い、リーダーシップの醸成をはかり、満足度及び標準修業年限卒業率の向上へとつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教授法等に関する学部FDの企画を開催する。 ・学生の学習意欲・視野の広がり等に貢献する講演会やシンポジウムの企画し開催する。 ・低学年からの正課教育と連動した国家試験対策支援プログラムを構築する。
15) [ビジネス学部]2024年度より基礎4分野の教育をより効果的なものとする新カリキュラムを実行する。特に「定性的・定量的情報の分析とマネジメント」能力の向上に重点を置く。	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム案に基づいた教員組織を編成する。
16) [建築・デザイン学部]学びを広く深く身に付ける施策を検討・実行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・建築・デザイン学部新設に伴い、学生が建築とデザインだけでなくその近傍にある領域も自由に横断しながら、新しい視点からの美術の学びを広く深く身に付けるため、建築やデザインの分野だけに限定せず、第一線で現役で活躍している実務家を招いて年間5回程度のシンポジウムを計画し行う。学生にはアンケートによる振り返りを行う。シンポジウムは建築・デザイン系の大学に広報し、公開講座とし、共立女子大学、学部のPRも行う。

【評価指標】⑥総合文化研究所を中心として研究活動を支援し、教育への還元を目指す。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 研究活動推進、支援組織として総合文化研究所の活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究活動について専任教員を対象としたアンケートを実施する。前期にアンケート項目の検討を行い、後期にアンケートを実施し、集計結果をもとに、課題を洗い出す。 ・プロジェクト研究等の研究活動プログラムの導入について検討する。
2) 研究活動の自己点検・評価の観点として研究活動報告書や教員研究業績を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・researchmapとの連携を含め、教員研究業績のシステムについて検討する。 ・教員研究活動報告書の内容について検討する。

【評価指標】⑦競争的資金等の外部研究資金を獲得し、研究活動を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 競争的研究を含めた外部研究活動への支援体制を充実する。	・2024年度の科研費応募申請に向け、各種制度の課題の洗い出しを行い、それを踏まえた外部支援プログラムの活用と学内説明会を行う。
2) 学内外への広報活動を行い、研究推進を図る。	・研究活動についてホームページ内容の見直しを行い、学外向けとして研究活動の取組、規程、教員紹介、活動報告等をまとめ、学内向けとして外部研究募集情報、各種マニュアル等のページを作成し公開する。 ・前期に研究費執行についての説明会を行う。

【評価指標】⑧短期大学の社会的要請やニーズを踏まえて、教育課程、教育内容、教育方法の改善・改革を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) リーダーシップ教育の発展、資格取得やキャリア教育の充実とともに学外教育活動を推進する。	・2022年度までに改善・充実を図った教育内容を中心に点検・評価を行い、リーダーシップの教育内容を充実し、共立女子短期大学に求められるニーズを把握し、魅力ある教育内容を実施する。
2) [生活科学科]2コース制を活かした専門教育科目・授業内容を検討・強化、充実する。	・ICT教育とPBL型授業を融合した独自教育を推進するために、2コース制を活かした一体的なカリキュラム開発、授業内容や教育方法を検討し、実施に向けて関係部署との意見交換を行う。 ・サービスラーニングの実施に向けた準備を行う。 ・機材、施設、設備等の点検・評価を行い、改善策を実施する。
3) [文科]コース制を活かした卒業後の進路を見通す専門教育科目、授業内容の開発・強化、充実を図る。	・日本文化・表現コースにおいて、日本語教員を目指す「日本語教育能力検定」対応の授業を展開する。 ・心理学コースにおいて、「社会福祉主事任用資格」を目指した授業を展開し、卒業後の進路をサポートする授業の強化を図る。 ・グローバル・コミュニケーションコースでは航空業界への就職を目指す「エアポート・エアラインの英語」を開講する。 ・サービスラーニングの実施に向けた準備を行う。 ・機材、施設、設備等の点検・評価を行い、改善策を検討する。

【評価指標】⑨社会的要請や実学教育の伝統を踏まえた、数理・データサイエンス・AI教育を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 数理・データサイエンス・AI教育の強化、充実を進める。	・「データサイエンスとICTの基礎」の受講者の学修状況に応じた支援を実施する。 ・現状のガイドラインを見直し「情報の分析と活用B」だけでなく、それ以外の科目においても、国や産業界等の外部団体のデータを使用したPBL型授業導入の検討を行う。
2) 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」(応用基礎レベル)の認定を目指す。	・導入済みのモデルカリキュラム(リテラシーレベル)の内容の検証を行う。 ・教養教育科目の情報リテラシー科目の履修者を増加させるため、サーティフィケート制度の説明とともに広報を実施する。

【評価指標】⑩英語教育を充実させ、英語によるコミュニケーション力向上やTOEICのスコアアップを図る。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 英語プログラム「KEIT(Kyoritsu English Intensive Training)」の効果的運用による学生の英語力、学修意欲を向上させる。	<ul style="list-style-type: none">・各授業の授業評価アンケートの結果を振り返り、アチーブメントテストのTOEICスコアと併せて分析し、2023年度のガイドラインの点検・評価並びに2024年度ガイドラインの改善を実施する。・各レベルの目標スコアとアチーブメントテストにおける達成者の人数を確認し、他の支援について検討する。・プレイスメントテストからアチーブメントテストのスコアの伸び率が高い学生を表彰する制度を検討する。

I-3. 国際化

【長期目標】

学生・教職員が国際交流の場において多様性を認め、尊重し合い、「共立リーダーシップ」を発揮できるようにする。

主となる委員会・会議 共立女子大学・共立女子短期大学 国際交流委員会	主となる事務局 学生支援課
--	------------------

【評価指標】①共立女子大学・共立女子短期大学国際交流方針に基づき、組織的な国際交流支援体制や制度を構築する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 国際交流活動の推進を目的とした、具体的な戦略の立案・検証を行う国際交流センター(仮)を設置する。	・2024年度 国際交流センター(仮)設置に向けて、組織体制等を決定し規程を整備し、センターの人員配置について承認を得る。

【評価指標】②共立女子大学・共立女子短期大学への留学生数を増加させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 受入外国人留学生数を総数100人にする。	・私費外国人留学生が入学にあたって参考としている広報媒体や本学認知のプロセスを調査し、受入人数を拡大するために国際交流委員会として実施可能な有効手段を決定する。 ・協定校との基本合意書を見直し、交換留学生の受入枠を2022年度6名から2023年度は8名に増やす。

【評価指標】③共立女子大学・共立女子短期大学からの留学者数を増加させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の留学プログラムに参加する学生数を200人にする。	・留学期間中に取得できる単位を明確にするため、学部・科の単位認定や自己開発科目の認定状況を調査する。

I-4. 学生生活

【長期目標】

学生一人ひとりが有意義な学生生活を送ることで、「共立リーダーシップ」を発揮できるよう、組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議	主となる事務局
全学学生委員会	学生支援課

【評価指標】①学修行動調査における、学生生活支援の満足度の割合を90%以上にする。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 適切な学生支援を行い、学生生活支援満足度を90%以上に高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活ガイダンスで教職員のサポート体制、サービス内容の周知を徹底し、利用率の向上を図る。 ・2023年度前期に学生生活満足度を上げるためのアンケート調査を行い、問題点の洗い出し及び改善方法を検討する。 ・学生生活支援満足度を90%以上にする。

【評価指標】②「共立リーダーシップ」を発揮する機会を増やす。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 公認学生団体の代表者のみを対象に行っているリーダーシップ研修を、希望するすべての学生に向けて提供し、参加者数を200人以上に増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップに関する研修体制、実施内容、効果測定の方針を策定する。 ・リーダーシップ研修の対象者を公認学生団体所属の役員以外や公認学生団体に所属していない学生にも拡げて2024年2月に実施する。

【評価指標】③担任（アカデミック・アドバイザー）制度をさらに活用し、学生のサポートを教職協働で行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学生プロフィールを利用して適切な情報の共有を行い、能動的な学生支援につなげる。	・学生プロフィールの記入内容・共有範囲・活用目的を見直し定義づけ、2024年度に作成するガイドラインの基盤となる共通認識を整える。

【評価指標】④学生生活のダイバーシティ&インクルージョンを推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 教職員及び学生が他者と互いに認め合う際の一助となるガイドラインを整え個人の人格・思想・習慣に配慮した支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集を行いダイバーシティ&インクルージョンについてのガイドラインを検討する。 ・学生教職員を対象としたダイバーシティ&インクルージョンに関する調査を実施する。 ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進の宣言を目指す。

【評価指標】⑤学修行動調査における「自身のことを気軽に相談できる関係の人がいる」の割合を高めるため、積極的なコミュニティ形成支援として正課外活動を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学生の孤立を防ぎ、頼れる居場所を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 支援体制構築の検討を行い、コミュニティに所属しやすい環境作りをし、正課外活動(学内公認団体・共立Stand Up! プロジェクト・ボランティア等)の参加率を増やす。 新入生歓迎会では各学部・科の新入生の出席率90%以上を目指し、新入生と公認団体に所属する在学生の交流の場となる活動発表を実施する。 共立Stand Up! プロジェクトでは5つのプロジェクトを稼働させる。プロジェクトに関わる全メンバーが参加するコミュニティを設け、各プロジェクトの活動進捗を報告し合うコミュニケーションの場を設置する。

【評価指標】⑥フィジカルヘルス及びメンタルヘルスに関わる情報提供を行い、支援が必要な学生に対する相談体制・環境を適切に保つ。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 支援が必要な学生の早期発見を行い、適切な修学支援を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断時、問診票や全員への問診により情報収集を行い、フィジカルヘルス及びメンタルヘルスに関わる支援が必要な学生は保健室と学生相談室で情報共有し即時対応する。 教職員対象の学生支援に関する研修会を2024年3月に開催する。 共立女子大学・共立女子短期大学の状況に合わせた学生支援体制を見直す。

【評価指標】⑦奨学金など経済的支援を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学生が修学に専念できるよう経済的な支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> 学生が必要とする奨学金を社会情勢や調査等で随時見直し、必要な奨学金を設計し関係部署と協議し規程を整備する。経済困窮学生に対する奨学金を中心に検討する。

【評価指標】⑧学修行動調査における各号館の学生食堂及び本館4階売店の満足度の割合をすべて80%以上にする。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学生の満足度向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度前期の食堂営業終了時点でアンケートを実施し、運営業者及び関係部署に改善指示、協力依頼を行う。(サービス、金額、メニュー、施設設備等について)アンケート結果及び改善内容を学生に周知する。

【評価指標】⑨「Society5.0」時代に応じた、学生のニーズに対応した快適な学生生活環境を整える。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) IRデータやICTを通常時の学生支援や緊急時の安否確認等において有効に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 学生支援や緊急時対応にICTを活用するための仕組みや方法の検討を行い、実施体制を整備する。

【評価指標】⑩研修センターの利用を促進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 研修センターの認知度や利点を媒体で伝え、学生の利用につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスガイドやkyonet等の学生が日常的に利用する媒体を通じて広報し、研修センターの認知度を高める。 研修センターの存在を周知すると共に利用促進につながる情報を収集するため、学生へのアンケートを実施する。 学生が参加するイベントを実施し、その様子を広報する。

【評価指標】⑪学生の帰属意識を向上させるため、卒業生との連携・交流を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 卒業生と在学生の交流により、在学生在が共立女子大学・共立女子短期大学の魅力をより強く感じる機会を作る。	・在学生在が卒業生と交流するイベントを企画、開催する。

I-5. 学修支援・授業支援

【長期目標】

学修成果や教育成果の可視化の結果を活用した継続的な改善活動により、学生が専門的な知識・技能を活用しながら、「共立リーダーシップ」を発揮できるよう、組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議 全学教育推進機構	主となる事務局 教育学術推進課
------------------------	--------------------

【評価指標】①研究科・学部・科、専門・教養を問わず、リーダーシップ教育の学修支援・授業支援を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) リーダーシップ教育センターと各学部・科等の連携によるリーダーシップ教育を普及・定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーダーシップ教育ガイドライン」を策定する。 ・「リーダーシップ教育ガイドライン」に即したシラバスチェックを実施する。 ・リーダーシップ教育に「共立リーダーシップ」のルーブリックを適用する。
2) 「共立リーダーシップ」に関する学修成果・教育成果可視化データの活用促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学修ポートフォリオ活用ガイドを作成し公開する。 ・学生へ学修ポートフォリオに関する説明会を実施する。

【評価指標】②建学の精神及び人材養成目的を達成するために組織的・体系的なFD・SD活動を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 教育活動・教育支援活動の改善・充実に活用するための、学内の多様なニーズにタイムリーに対応した体系的なFD・SD活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動・教育支援活動に関するFD・SD活動の段階的な目標を明確化し、FD・SDガイドマップを作成する。
2) 「共立リーダーシップ」を全学の教育活動・教育支援活動に適切に反映するためのFD・SD活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「共立リーダーシップ」と「リーダーシップの共立」に関する全学的な情報共有の機会としてFD・SD活動を企画し実施する。 ・「リーダーシップ教育ガイドライン」を各部門で展開、活用するためのFD・SD活動を企画し実施する。

【評価指標】③学修成果・教育成果を向上させるための環境を整え、制度を構築する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) ディプロマ・ポリシーの各観点を個人、学部・科(研究科)、共立女子大学・共立女子短期大学ごとに評価する指針や方法を策定し、支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントプランに基づいて各部門の自己点検の実施状況を確認しフィードバックする。
2) 学生の主体的な学びを促進する環境や情報を提供、評価し、改善する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びの観点を含み新しいディプロマ・ポリシーに対応した学修ポートフォリオの検証を実施する。 ・電子資料(データベース、電子ジャーナル、電子図書)の有効活用に向け、利用状況の分析結果をもとに契約方針を定め、方針に沿った契約を行う。
3) 教育効果を上げるために、教員の指導計画に基づく指導補助者(TA、SA、LA等)が活用できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導補助者制度の構築と指導補助者に対する研修を企画する。

【評価指標】④「Kyoritsu教学DX推進プラン」に基づき、学修方法・教育方法を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) ICTを用いた様々な授業デザインの提案と効果検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の評価が高かったオンデマンド型授業の教員にインタビュー等を行い教育効果の高い要素を抽出しそれを基に授業デザインの提案を行う。 ・ICTを用いた授業デザインをニーズに応じて提案しKyoritsu教学DX推進プランを更新する。
2) Kyoritsu Myパソコンを活用した、いつでもどこでも学修できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・Myパソコンの活用状況調査と課題把握をする。 ・システム利用環境を情報システム課と連携し整備する。

【評価指標】⑤それぞれのカリキュラムに必要な入学前教育及びリメディアル教育を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 入学前教育及びリメディアル教育の実施と学修意欲向上の支援体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前教育及びリメディアル教育の目的を明確化するとともに、実施体制と学修意欲向上の支援体制を検討する。

I-6. キャリア形成支援

【長期目標】

自己と働くことを関係付け意味付けながら、精神的・職業的・社会的に自立し、社会で「共立リーダーシップ」を発揮できるよう、組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議 全学学生委員会	主となる事務局 学生支援課
-----------------------	------------------

【評価指標】①リーダーシップ教育等、共立女子大学・共立女子短期大学の強みや特徴を活かした正課内外の教職協働によるキャリア形成支援の取組を推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 初年次からのキャリア教育プログラムを構築・拡充する。	・正課授業とキャリア支援グループの講座を関連付けて、方針を策定する。 ・学部・科を問わずに学生が交流でき、共立女子大学・共立女子短期大学の特長を活かした教育プログラムの構築と拡充を図る。
2) リーダーシップ教育のインプットとアウトプットできる機会を創出し、社会人基礎力チェック(PROG)の結果と進路先の関係を分析・活用する。	・PROG結果分析とディプロマ・ポリシーとの関連付けや業種・業界別の傾向等学生に分かりやすく提示できる支援メニューの構築及び社会で活躍している卒業生との接点を拡大する。
3) 正課におけるキャリア教育のシラバス案や運営方法を整理・改善する。	・自己を確立し、生涯学び続けるための基礎的な力を養うことを目標として掲げ、自立・自活のための基礎科目について検討する「自律と努力コア分科会」において「基礎ゼミナール」及び「ライフプランと自己実現」を中心とした内容のブラッシュアップと正課外との結び付けを強化する。 ・実態把握のため、キャリア教育に必要な科目の情報を整理し、必要に応じて「自律と努力コア分科会」以外とも連携しながら関連付けを行う。

【評価指標】②キャリア教育及び就職・進学支援を充実させるための組織体制を整える。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) キャリア支援の目的と方針・役割を明確にした上でキャリアセンター(仮称)を設置する。	・現在のキャリア支援グループの業務を整理し、初年次教育との連携や人員配置、予算確保を意識しながらキャリアセンター(仮称)の機能を企画立案する。
2) 教職員との連携及び学部・科におけるキャリアに関する取組を整理・共有する。	・学部ごとの情報を整理するにあたり、他大学の事例を参考にしながら、カリキュラム編成含めた初年次教育の在り方について検討し、水平展開に向けた準備を行う。
3) 職員間の環境整備として時間と場所を選ばず、誰もが同じレベルでタイムリーに情報を取得し、シェアできるシステムを導入する。	・職員が情報を共有化できるシステムの洗い出しと予算を確保する。

【評価指標】③社会変化や企業ニーズを的確に把握する機会の創出と求人を開拓する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 社会や企業ニーズを的確に把握し、就職率都内女子大TOP5入りを目指す。	・就職率都内女子大TOP5入りの女子大学を調査し、共立女子大学・共立女子短期大学の特長に合わせて、企業の新規開拓と既存のネットワークを深化させながら、就職率及び満足度が上がる仕組みを構築する。
2) 正課内外(インターンシップや各種講座等)の連携や過去に実績がない企業との接点を拡大する。	・正課内・外の目的整理と正課で学んだことが実際の社会の場等で体験できる機会を正課外として提供するために、卒業生の就職先や経済・業界団体との関わりを深化、共立女子大学・共立女子短期大学のリーダーシップ教育を周知しながら新規の求人開拓及びインターンシップ等の産学連携事業を推進する。

【評価指標】④共立女子短期大学においては、教職協働による進学支援を充実させ、進学率を向上させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 指定校担当者とのコミュニケーションを強化する。	・指定校枠の拡大に向けては、学生が志望する大学の担当者とのコミュニケーションを強化する。
2) 学生のニーズを把握した教職協働の進学支援を実施する。	・学生個人のニーズに合わせた支援を実施するための方針を策定し、教職員が連携を図ることができる機会を設ける。

【評価指標】⑤キャリア支援に関するコンテンツの利用を促進し、卒業時の学修行動調査における就職・進路支援満足度を向上させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学のキャリア支援の取組における周知を強化するとともに、学修行動調査の結果を反映した講座を運営する。	・ホームページでキャリア支援の取組を体系的に紹介する。共立アカデミーと連携をとりながら、学生の成長につながる講座を企画立案し運営する。

I-7. 社会連携・貢献

【長期目標】

教育・研究成果を社会に還元し、社会の発展・SDGsの達成に寄与するとともに、社会連携・貢献活動の中で、学生・教職員が専門的な知識・技能を活用しながら「共立リーダーシップ」を発揮できるよう、組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議 社会連携センター	主となる事務局 教育学術推進課
------------------------	--------------------

【評価指標】①社会連携・貢献活動を継続できる組織的な体制を整える。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 社会連携センター及び社会連携センター運営委員会において、学内ニーズと連携先の調整、事業活動のプロデュース等を行える体制を整え、全学的な社会連携・貢献活動のためのハブ的機能の確立を目指す。	・学内の様々な単位で取り組まれている社会連携活動の実態把握を行う。
2) 社会連携に関する諸活動について、学内・学外への効果的な情報発信・浸透のための体制を整え、全学をあげての取組とする。	・各種成果報告会や出展、発表に、社会連携センター運営委員の年1回以上の参加を目指す。

【評価指標】②企業や地域と協働したPBL(課題解決型学修)により、実社会で活かせる「共立リーダーシップ」を身に付ける活動を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 自治体や企業等と連携して社会課題の解決や人材養成を目指した「地域連携プロジェクト」及び各種「社会連携プロジェクト」等を持続可能な形で実施・拡充・推進し、「共立リーダーシップ」の実践の場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度からの導入を目指し、サービスラーニング(社会貢献活動を通じた体験型学修)の要素とリーダーシップ教育の要素を盛り込んだ共立女子短期大学1年次を対象としたPBL(課題解決型学修)科目の展開について検討する。 ・自治体と連携し、教養教育科目「自己開発」対象 社会連携プログラムPBLとして、南三陸町フィールドワーク、福井市フィールドワーク(福井大学と協働)五島市フィールドワーク(五島高校と協働)を構築し、展開する。 ・連携先の自治体、産業等と協働し、地域活性化や社会課題解決に向けた「地域連携プロジェクト」の実施推進を行う。

【評価指標】③千代田区及び関係団体等を含む行政との連携も含めて、神保町の発展に寄与する共立女子大学・共立女子短期大学になる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 千代田区内及び神保町の諸課題をテーマとした「千代田学」等を実施・推進・拡充する。	・千代田区の産業・行政等と連携し、地域活性化や社会課題解決に向けた「千代田学」等の実施推進を行う。
2) 千代田区役所の各部署及び神保町周辺の町会・商店会・関係団体等との関係性を維持・拡充し、千代田区及び神保町で行われる事業・イベント等で展開されるブース等において、共立女子大学・共立女子短期大学の社会連携活動及びSDGsへの取組を積極的に広報する。	・地域・自治体や文化的活動を中心とした様々な分野で活動している諸団体との連携を強化し、各種成果報告会の開催や、学生が参画できる形での出展、取組の発信を行う。

【評価指標】④大学間連携の活動を積極的に展開する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 千代田区キャンパスコンソーシアムの学生間・教職員間の連携・交流を深め、教育・研究及び正課外活動の質の向上を図るとともに、地域・社会貢献に繋がる事業活動を推進する。	・千代田区キャンパスコンソの運営委員会において、学生間・教職員間の連携・交流の拡充へ向けた提案を行う。
2) 他大学との大学間連携の可能性について検討・協議できる環境を整え、実施する。	・連携先の大学との情報交換を実施し、今後の連携事業の展開に向けて検討する。

【評価指標】⑤リカレント教育を充実させ、社会人に特化した体系的なプログラムを構築する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 「社会人の学び直し」の観点に立った、体系的なリカレント教育プログラムを構築するとともに、学修歴を証明する仕組みを導入し、適切に運用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の正課外講座も含めた体系的なリカレント教育プログラム構築の検討及び新規講座の開発・実施へ向けた準備を行う。 ・リカレント教育プログラムへのオープンバッジ等の学修歴証明の導入準備を行う。

I-8. ブランディング・広報

【長期目標】

「リーダーシップの共立」をステークホルダーに発信し、共立女子大学・共立女子短期大学の「ブランド」を確立するとともに、学生募集に係る広報を適切に実施し、志願者の増加に努める。

主となる委員会・会議 全学広報委員会	主となる事務局 大学企画課
-----------------------	------------------

【評価指標】①「リーダーシップの共立」というブランドの社会的認知を高める。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 広く社会に向けたメディア施策を実行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーダーシップの共立」を広く社会に認知させるための施策について調査、検討を行う。 ・「リーダーシップの共立」を告知する動画の製作と拡散を行う。

【評価指標】②共立女子大学・共立女子短期大学において、一般選抜の志願者数を増やすブランディング・広報を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の一般選抜の志願促進につながるブランディング・広報を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルを2024年度に完成させるための準備を行う。また、一般選抜の志願促進となるホームページ施策を実施する。 ・SNS施策の方針を決め、方針に基づく運用を開始する。 ・学部・科の特色ある教育について、一般選抜志願促進広報を実施する(文芸学部・国際学部・ビジネス学部の新カリキュラム、看護学部のシミュレーションルーム、児童学科の丁寧な実習指導、等)。 ・共立女子大学・共立女子短期大学への認知度を高めるための施策を検討、実行する。

【評価指標】③共立女子大学・共立女子短期大学において、総合型選抜・学校推薦型選抜の広報を強化する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の総合型選抜・学校推薦型選抜の志願者数を増やすブランディング・広報を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度入試対象者に向け、8月までにオープンキャンパスを6回、共立女子短期大学ミニオープンキャンパス2回を実施する。 ・2025年度以降の入試対象者に向け、9月以降にオープンキャンパスを2回、短期大学ミニオープンキャンパスを1回実施する。 ・高校訪問について、過年度の振り返りを行いながら前期集中で500校以上訪問する。 ・学部・科の特色ある教育について、総合型選抜・学校推薦型選抜志願促進広報を実施する(文芸学部・国際学部・ビジネス学部の新カリキュラム、看護学部のシミュレーションルーム、児童学科の丁寧な実習指導、等)。 ・ホームページのリニューアルを2024年度に完成させるための準備を行う。また、総合型選抜・学校推薦型選抜志願促進対策となるホームページ施策を実施する。

【評価指標】④併設校、連携校との関係を強化する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 併設校に対して、共立女子大学・共立女子短期大学の魅力・教育内容について理解を促進する施策を行い志願者数を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・共立女子高等学校、共立女子第二高等学校の進路指導部と過年度の振り返りを行った上で、併設校説明会の開催、KWU高大連携プログラムへの参加促進等、併設校への訴求を行う。
2) 連携校からの志願者数を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・連携校と協議のうえ活動を行い、その振り返りも踏まえ連携活動のベースを構築する。

I-9. 内部質保証

【長期目標】

「共立女子大学・共立女子短期大学ビジョン2032」をステークホルダーと共に実現するため、種々の活動を継続的に点検・評価し、改善・向上に取り組むとともに、説明責任を果たす。

主となる委員会・会議 全学自己点検・評価委員会	主となる事務局 大学企画課
----------------------------	------------------

【評価指標】①内部質保証システムを適切に機能させて、種々の活動の質を改善・向上させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 教育・研究水準の向上を図り、その設置目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価活動を行い、その結果を共立女子大学・共立女子短期大学の充実・改善・改革に活用し内部質保証を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 自己点検・評価活動を継続して実施し、点検・評価結果を公表する。 各部門の点検・評価をもとに全学的な観点で内部質保証推進状況を点検・評価し、改善や向上を図る。
2) 共立女子大学・共立女子短期大学の取組の優れている点や改善を要する点を評価機関による認証評価で確認し、内部質保証を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度の自己点検・評価結果をもとに、共立女子短期大学の自己点検・評価報告書を滞りなく取りまとめ、一般財団法人大学・短期大学基準協会による認証評価を受審する。 2024年度の共立女子大学の認証評価受審に向けて、2023年度自己点検・評価報告書を作成する。

【評価指標】②自己点検・評価を通じた自律的なPDCAサイクルを推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 全学レベル、学位プログラムレベル、授業レベルのPDCAサイクルを推進するとともに、有機的に連携させて、種々の活動の改善・向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「研究科長・学部長・科長会」において、グッドプラクティスや全学の共通課題、各学部・科の困りごとを共有する場を設け、対話を通して改善に向けた相互支援を行う。 「外部評価委員会」と「学生評価委員会」からの評価をもとに改善課題を設定し、計画の立案と改善・向上を行う。

【評価指標】③IRを基盤とした意思決定支援を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) エビデンスベースのマネジメントが行われるように各種情報の可視化・提供を通して意思決定を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 学内外から得たデータをもとに、既存データの更新、改善や新たな可視化を行い、QlikSenseを通して提供する。 データに基づいて対話を行い、全学及び各部門の課題発見と解決を行う。 大学IRに関する最新情報を取得する。

I-10. 管理運営

【長期目標】

「共立女子大学・共立女子短期大学ビジョン2032」の達成に向けて、戦略的かつ機動的な管理運営を行う。

主となる委員会・会議 研究科長・学部長・科長会	主となる事務局 大学企画課
----------------------------	------------------

【評価指標】①学長を中心とした全学的な教学マネジメントを推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学長を中心とした体制で、戦略的な企画立案、機動的な意思決定及び執行を行う。	・学長執行部、研究科長・学部長・科長、学部長補佐等が協働してマネジメントを推進する体制をより強固なものにするため、トップ・ミドルマネジメント研修会を継続して開催する。 ・次期学長執行部での継続した教学マネジメント体制の推進に向けた準備を行う。

【評価指標】②共立女子大学・共立女子短期大学の将来構想を検討する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の将来の方向性を定める。	・社会情勢、社会的要請や各学部・科の入学志願動向等を把握し、共立女子大学・共立女子短期大学の将来構想の具体化を図る。

【評価指標】③櫻友会との連携を強化する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学及び櫻友会相互の発展のため、連携・協力関係を強化する。	・櫻友会との連携に係る具体的方針を検討し決定する。

Ⅱ. 共立女子中学高等学校

Ⅱ-1. 入学者受入れ

【長期目標】

「リーダーシップの共立」を掲げる共立女子中学高等学校の入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)を明示し、方針に基づいた入試により入学者を受け入れる。

主となる委員会・会議 広報部 教務部	主となる事務局 中学高等学校事務室
---------------------------------	-----------------------------

【評価指標】①アドミッション・ポリシーに基づく入試を実施し、入学定員を充足させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 受験生に共立女子中学高等学校が期待する生徒像を伝える。	・共立女子中学高等学校が掲げるアドミッション・ポリシーを、学校説明会、ホームページ、SNSやガイドブック等、あらゆる機会を通して受験生に周知する。
2) アドミッション・ポリシーに基づいた入試を実施する。	・入学後に、全生徒の定期試験や模擬試験の結果を継続的に収集・分析し、「解く力」「考える力」がどれくらい身に付いているかを確認する。 ・アドミッション・ポリシーに掲げている「4つの力」の内、「解く力」「考える力」を試す内容となっているか検証する。

【評価指標】②データに基づいた戦略的な広報活動の下、十分な入学志願者を獲得し、志願倍率を高め、実受験倍率2.5倍以上を維持する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 「共立リーダーシップ」の理念や教育活動の魅力伝える。	・他校のホームページやSNSによる情報発信の仕方を調査し、より効果的な情報発信の方法を検討する。 ・学校説明会で「共立リーダーシップ」を体現した活動の動画を紹介する。 ・受験生に共立女子中学高等学校の魅力を直接伝えるため、共立祭やオープンキャンパス等、生徒が主体的に活動する行事を実施する。
2) 受験者層の拡充・拡大し、実受験倍率2.5倍以上にする。(※2/1入試にて計測)	・競合校の広報手段を調査する。 ・塾、私立小学校訪問先が知りたい内容を調査する。

Ⅱ-2. 教育改善・教育の質的向上

【長期目標】

育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を明示し、生徒の多様な個性を尊重しながら学力を向上させつつ、「共立リーダーシップ」を発揮する人材を養成する。

主となる委員会・会議 教務部 国際交流部 進路指導部 情報システム管理委員会	主となる事務局 中学高等学校事務室
--	----------------------

【評価指標】①カリキュラム・ポリシーの下、カリキュラム・マネジメントを徹底し、グラデュエーション・ポリシーに基づく生徒を育成する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) ポリシーに基づく、生徒育成、教育課程の編成が実現する。	・カリキュラム・ポリシー及びグラデュエーション・ポリシーをホームページや学校説明会等で公表し、周知する。
2) 生徒の多様な個性を伸ばす。	・入試類型別に、入学した生徒の学習状況を追跡・調査する。 ・個々の生徒の相談に応じられるように、チューターによる新たな学習支援体制を構築する。
3) 生徒にとって効果的な授業運営を検討、実現する。(生徒数、習熟度分け)	・効果的な授業運営を検討するため、他校における授業方法(クラスサイズ・習熟度の分け方等)に関する情報を収集する。
4) 教育方法に合わせた環境を整備し、教育効果の向上を図る。	・教育環境整備のための検討が行える体制を構築する。
5) 教育内容を統一化し、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育を等しく提供する。	—

【評価指標】②視野を広げる教育を推進し、全生徒が「共立リーダーシップ」を身に付け発揮する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 「総合的な探究の時間」の授業構築に当たり、大学・企業・地域と連携を進める。	・他校の実践例を参考にしながら、連携先を調査する。
2) 「総合的な探究の時間」の授業において、「共立リーダーシップ」を育む。	・中学1年生～高校1年生において、外部企業と連携したリーダーシップ養成講座を実施し、その結果を検証する。 ・高校2年生の選択科目に「共立探究実践」を設け、その内容を検証する。

Ⅱ-3. 生徒指導・進路支援

【長期目標】

学校活動の中で「共立リーダーシップ」を発揮することで自己肯定感を高めながら、志望する進路が実現できるよう、組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議 教務部 進路指導部 生活指導部	主となる事務局 中学高等学校事務室
-------------------------------------	----------------------

【評価指標】①学校活動(部活動、行事含む)の中で自分らしいリーダーシップを発見し、磨いて、発揮できるように指導・支援する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 生徒会や委員会の運営、行事の企画と運営を生徒主体で行えるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治組織として機能するために、生徒会の達成目標を生徒全員が共有する。 ・生徒同士の関係性を構築し、自治組織としての生徒会運営を改善する。 ・生徒会においてリーダーシップ研修を実施する。
2) 生徒のチーム活動に関する教員の指導力、支援力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動に対する適切な支援のあり方について学ぶための研修を企画し、実践する。

【評価指標】②生徒自身の希望を最優先にしつつ、進路支援を充実させ、第一志望への進学率を高める。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 生徒が自分に合った入試方法で受験できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・著しく変化する進路関連の詳細な情報を提供し、サポートできる体制を構築する。
2) 各種データに基づいた適切な進路支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・取得したデータの整理、活用を目指し、分析方法を検討する。
3) 生徒のキャリア形成を促進させ、卒業後の進路を明確にする企画を実行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と卒業生の交流の場(ホームカミングデー)を検討する。 ・様々な分野における著名な講師による講演会や企業、大学訪問を企画し、実施する。 ・教員の学習会や研修を企画、実施し、進路支援におけるアップデートを行う。
4) 海外大学進学希望者に対する支援を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルマインドを向上させるためのガイダンス及びイベントを企画し実施する。 ・海外大学進学を希望する生徒に対して、提携業者と協力しフォロー体制を強化する。 ・海外大学に進学した卒業生と、オンライン等での交流の場を設ける。
5) 海外留学に対する支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の支援状況を調査する。

【評価指標】③教職員、カウンセラーが保護者と連携し、生徒一人ひとりの状況に応じた生徒指導をする。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) フィジカルヘルスやメンタルヘルスに対するフォローを整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談にあたっての方法や相談場所をどこにするか等を具体的にするための検討を行い、現在の体制を改善する。 ・教員OG・OBや卒業生の保護者に協力を要請し、サポート体制の強化を検討する。
2) 教員、養護教諭、カウンセラーの情報共有方法の徹底やスキル向上を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員・養護教諭・カウンセラー間での情報共有の方法を検討し、実行する。

【評価指標】④共立女子大学・共立女子短期大学をはじめとした大学等との連携・接続を強化する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の教育研究に触れる機会を増やす。	・共立女子大学・共立女子短期大学と定期的に打ち合わせを行い、現状把握と問題提起をする等共通認識を持つ。
2) 他大学との連携、接続を強化し、多様な進路に触れる機会を増やす。	・生徒に多くの大学の情報に触れてもらうため、校内相談会を実施する。 ・高大連携を強化できる大学等を調査し、連携する内容を検討する。

Ⅱ-4. 管理運営

【長期目標】

「共立女子中学高等学校ビジョン2032」の達成に向けて、戦略的かつ機動的な管理運営を行う。



【評価指標】①生徒・保護者の共立女子中学高等学校に対する満足度を向上させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 保護者のニーズに合わせ、学校の取組や学校活動についての情報提供を行う。	・保護者の意識調査やアンケートを実施し、その結果を分析する。
2) 保護者とのコミュニケーションを充実させ、課題把握と改善活動を行う。	・保護者との意見交換ができる場を検討し、出された意見にどのように対応し、改善していくかを検討する。
3) 生徒の自主的な活動を支援する教育環境を整える。	・生徒の自主的な活動に関する調査を行い、必要な支援策を検討する。 ・外部施設や人的リソースの活用を含め、必要な環境と教具を検討し、整備・充実させる。

【評価指標】②教育課程・学校活動を向上させるため、教員の能力向上の機会拡大や業務効率化を促進させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 教育活動に取り組む時間を増加するため、業務軽減を行う。	・個人の校務や業務の分担における実情を把握し、デジタル化の推進等を行い、効率化を促進させる。 ・部活動の外部委託の方向性を検討するために、部活動ごとの活動内容を精査する。
2) 生徒が「共立リーダーシップ」を発揮するため、教職員の支援スキルを向上する。	・全教職員対象に「生徒がリーダーシップを発揮するための支援方法についての研修」を企画・立案する。
3) 教育活動へと寄与するため、新たな学習指導方法を学べる研修会を実施する。	・教員の能力向上のための研修を周知し、研修内容の共有方法を検討する。

【評価指標】③学校運営上の危機管理を適切に行い、生徒の安全を確保する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 非常時における対応を教職員間で明確化し共有することで、生徒の心理的安全性を高める。	・非常時対応を精査し、対応マニュアル(いじめ防止対策、熱中症対策)を見直し、刷新する。
2) 生徒たちの防災意識を高め、有事の際の対応力を身に付けさせる。	・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで防災訓練を計画し、実施する。
3) 災害時の対応を保護者へ周知し理解を得ることによって、有事の際のスムーズな対応ができるようにする。	・保護者会等を通じて有事の際の対応を周知し、帰宅方法の確認を行う。

【評価指標】④学習・教育環境の充実に向けた中長期的な施設設備整備計画を策定する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学習・教育環境を充実させ、学校運営を適切に行う。	・生徒の学校活動における、施設・設備等の課題整理と将来への展望を検討する。

Ⅲ. 共立女子第二中学校高等学校

Ⅲ-1. 入学者受入れ

【長期目標】

「リーダーシップの共立」を掲げる共立女子第二中学校高等学校の入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)を発信し、生徒募集に関わる広報を適切に実施し、多様な入試により入学者を受け入れる。

<u>主となる委員会・会議</u> 二中高将来構想委員会 入試広報部 入試制度検討委員会	<u>主となる事務局</u> 第二中学校高等学校事務室
---	--------------------------------

【評価指標】①入学定員の確保を目指し、着実に入学者数を増加させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子第二中学校の実出願者数及び入学者数を着実に増加させる。	・2024年度入試において、実出願者数170人、入学者数90人を達成する。
2) 共立女子第二高等学校の入学定員(内部進学者を含めて240人)を確保し、収容定員の充足を目指す。	・2024年度入試において、入学者数200人を達成する。
3) アドミッション・ポリシーに基づいて、入試制度を充実させる。	・地域競合校の入試制度との比較のもと、現行の入試制度の検証と改善を行う。 ・ポリシーに基づいた入試内容を充実させるとともに、その告知、広報を行う。
4) 卒業生子女及び転編入生を積極的に受け入れる。	・同窓会と連携し、ホームページや同窓会誌等を活用した卒業生子女への入試対応の周知を徹底する。 ・各種広報媒体や公式サイト等を活用し、転編入希望生徒向けの学校情報発信を行う。

【評価指標】②受験者層を拡充するために、「リーダーシップの共立」を核とした戦略的な広報を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 外部業者と連携した生徒募集活動を効果的かつ効率的に展開し、認知度向上を図る。	・外部業者との連携の下、オンライン配信やSNS活用等、多様な媒体において広報を展開する。
2) 教職員が適切に連携し、適正な広報活動体制を確立する。	・塾や学校訪問、各種説明会等に向けた教職員協働体制の確立のための課題を整理する。

【評価指標】③奨学金制度の活用・検証を行い、学力、スポーツ・芸術等の資質に優れた生徒を確保する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 奨学金制度を活用し、学力、スポーツ・芸術等の資質に優れた生徒を確保する。	・奨学生の成績追跡調査や課外活動の実績を踏まえた点検、評価、改善により奨学金の効果的な活用を推進する。 ・部活動顧問等の情報収集や学校訪問、大会視察等を推進する。

Ⅲ-2. 教育改善・教育の質的向上

【長期目標】

育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)を明示し、生徒の多様な個性を尊重しながら学力を向上させつつ、セルフリーダーシップを発揮する人材を養成する。

主となる委員会・会議 二中高将来構想委員会 教務部 国際交流委員会 情報システム委員会	主となる事務局 第二中学校高等学校事務室
---	-------------------------

【評価指標】①共立女子第二中学校は、基礎学力を定着させるために生徒の学習習慣の定着、学習意欲の向上を図る。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1)「共立リーダーシップ」の基礎的内容の理解と定着を図る。	・「共立リーダーシップ」の基礎的内容の理解を深めるためのプログラムを検討し、実施する。
2)家庭学習を習慣化させ、学んだ知識や技能の定着を図る。	・共立手帳(学習の記録)、Google-classroomの活用のもと、その学習効果を測定し、検証する。
3)実用英語技能検定について、卒業までに3級以上の取得を目指す。	・生徒個人の取得検定級の目標設定を検証し、取得実現に向けた方策を検討する。

【評価指標】②共立女子第二高等学校各コースのカリキュラムと生徒の成績等を検証し、検証結果に基づく改善を行い生徒の学習成果を高める。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1)コース再編後の教育実績及び進路実績に基づき、教育内容と教育方法の改善を図る。	・生徒の成績と進路希望を検証し、各コースにおけるシラバス・講座・ゼミ等を改善する。
2)「共立リーダーシップ」を発展的に育む機会を構築し、展開する。	・「共立リーダーシップ」の発展的なプログラムを検討し、実施する。
3)実用英語技能検定について、卒業までに英語コースは準1級以上、特進コースは2級以上、総合進学コース及び共立進学コースは準2級以上取得を目指す。	・生徒個人の取得検定級の目標設定を検証し、取得実現に向けた方策を検討する。

【評価指標】③総合的な探究の時間における「共立探究」の活動を充実させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1)「共立探究」のプログラムを通して、思考力・判断力・表現力を向上させる。	・2022年度までの「共立探究」の活動を点検・評価し、改善する。
2)探究、教科、行事を通じた効果的なカリキュラムの運用を図る。	・現行の探究活動と教科活動、行事を見直し、より効果的なカリキュラムへと改善する。
3)英語コースにおいては、グローバルマインドの育成を目的とした「総合的な探究の時間」の3年間の流れを構築する。	・高校2年生においては、地元企業と連携した授業を展開する。

【評価指標】④「学習の個別化」と「学習の自律」を促すためのゼミ・補習・講習等を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) ゼミ・補習・講習を充実させ、学習の自律と個別化を促す。	・希望制ゼミの充実を図り、応用、発展的な講習を検討する。
2) 支援を必要とする生徒が対面とオンラインを併用しながら、学習を継続できるようにする。 (退学者の減少)	・先進校の情報を収集しつつ、学習支援組織の設置を検討(組織・運営・人員配置等)する。
3) ICT機器の授業における活用方法を積極的に導入し、教育の質的向上と生徒のICTスキルの向上を図る。	・現行のICT機器の活用状況を検証する。

Ⅲ-3. 生徒支援・進路支援

【長期目標】

教科指導と課外活動において、一人ひとりの生徒の心と体の健全な成長を見守り、生徒が自律的に現在及び将来における自己実現を図っていけるよう支援を行う。また、一人ひとりの生徒がそれぞれ自己と向き合い、学びと社会を知り、主体的に針路について考え希望針路の実現を図っていけるよう支援を行う。

主となる委員会・会議 生徒部 進路指導部 教務部	主となる事務局 第二中学校高等学校事務室
--	--------------------------------

【評価指標】①心身の健全な成長に向けて、適切な支援を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 特別な配慮が必要な生徒に対する支援を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーと保健室の連携のもと、特別支援に関する現状の検証とその改善策を策定する。 ・教職員間における生徒情報の共有方法の迅速化を図る。
2) 生徒との対話を通してマナーやルールに対する意識を向上させ、自律心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・従来までの生徒指導のあり方の検証及び生徒との対話を通じた指導の改善を行う。
3) 生徒のネットリテラシー（情報モラル）を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師によるネットリテラシーに関する講演の実施と生徒会と連携したネットリテラシーの啓蒙活動を計画する。

【評価指標】②生徒会・委員会・クラブ等の活動において、生徒の自主性を引き出し、一人ひとりの能力を発揮できる機会を増やすことで、自己肯定感を高めていく。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 生徒会と委員会活動において、生徒の主体的な活動により活性化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会、委員会活動に対する生徒の意見を収集し、取りまとめる。
2) クラブと同好会活動の活性化と加入率を向上させる。（全校生徒のクラブ、同好会加入率を80%以上にする）	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員（外部指導者）についての情報を収集し、実現可能な運営方法を計画する。 ・現在のクラブと同好会の数を検証し、適正化を図る。

【評価指標】③針路プログラムを通してキャリア形成を行い、生徒一人ひとりの針路を実現する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 針路プログラムを通して、生徒自身が長期的な視点でキャリアを考えられるようになる。	・2022年度までの針路プログラムを検証し、課題を整理する。
2) データ分析を踏まえた進路指導を行う。	・模試等のデータの整理をもとに、生徒の進路実績を検証する。
3) 特別進学コースは、国公立・難関私大への現役進学率を20%以上、GMARCH及び理工系・医療系への現役進学率を30%以上とする。	・過年度までの校内ゼミ、講座、進路指導計画と成績、模試結果の検証のもと、さらに効果的なものに改善する。
4) 総合進学コースは、生徒自身の興味や関心に応じた進路を実現する。	・生徒の興味や関心を広げられる教育内容や課外活動を計画し実施する。 ・生徒にメディカル、サイエンス等、様々な分野における体験や入試制度の情報提供及び推進をする。
5) 共立進学コースは、KWU高大連携プログラムを柱とした高大連携強化と学びを充実させ、共立女子大学・共立女子短期大学への円滑な進学を実現する。	・共立女子大学・共立女子短期大学との多様な連携策を企画立案し、実施する。
6) 英語コースは、進学指導において海外大学への関心を高め、海外大学進学者を増加させる。	・英語4技能に特化した教育、講座等を展開する。 ・初年度の経験を踏まえてターム留学の推進と支援を行う。 ・海外大学進学に関する情報を収集し、生徒に提供するとともに、推薦枠を確保する。

【評価指標】④共立女子大学・共立女子短期大学をはじめとした大学等との連携を強化する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 共立女子大学・共立女子短期大学の教育研究に触れる機会を増やし、理解を深める。	・高校1年生のキャンパス見学会の実施、内容の改善を検討する。 ・研究室訪問や模擬授業の実施等について具体的に検討する。 ・KWU高大連携プログラムのさらなる充実化を図る。
2) 他大学や地域企業と連携し、多様な情報に触れる機会を増加させる。	・近隣大学、地域企業との連携の下、出張授業等の可能性について検討し、実施する。

Ⅲ-4. 管理運営

【長期目標】

「共立女子第二中学校高等学校ビジョン2032」の達成に向けて、戦略的かつ機動的な管理運営を行う。

主となる委員会・会議	主となる事務局
二中高将来構想委員会	第二中学校高等学校事務局

【評価指標】①生徒・保護者の共立女子第二中学校高等学校に対する満足度を向上させる。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 学校評価アンケートの回答率を向上させ、結果の信頼性を高める。	・生徒・保護者ともに回答率70%以上を達成するため、WEBによるアンケートの適切な実施時期と周知の方法を検討・改善する。
2) 学校評価に関わる生徒アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にする。	・2022年度アンケート結果の検証をもとに、日常の学習指導及び内容を点検・改善し、「そう思う」以上を90%以上にする。
3) 学校評価に関わる保護者アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にする。	・2022年度アンケート結果の検証をもとに、日常の学習指導及び内容を点検・改善するとともに、保護者会等を通じてその取り組みを周知し、「そう思う」以上を90%以上にする。
4) 学校評価に関わる保護者アンケートによる「わが子をこの学校に入学させて良かった」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にする。	・2022年度アンケート結果の検証、及び保護者会等を通じて、意見聴取・情報共有を行い、総合的な結果として「そう思う」以上を90%以上にする。

【評価指標】②スクールポリシーに基づいた特色ある教育を展開するため、教職員の適切な配置と資質向上を図る。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 校内外の研修会に積極的に取り組み、生徒への学習効果を高めるための教育内容・教育方法を研鑽する。	・外部講師を招いての実施も含め、年3回の研修職員会議を実施する。 ・校外研修会の情報を周知し、積極的な参加を促す。
2) 生徒が「共立リーダーシップ」を身に付け、発揮するため、教職員の支援スキルを向上する。	・2022年度に引き続き、教職員の支援スキル向上を目的とした「リーダーシップ研修」を計画し、実施する。
3) 教育活動に取り組む時間を増加するため、業務効率化を推進する。	・合理的な観点のもと、業務内容の洗い出しを行い、ICTを活用する等業務の効率化を推進する。

【評価指標】③八王子キャンパスの施設を整備し、有効活用する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 模試や部活等の公式戦、地域イベント等に協力し、企業や地域の活性化に貢献する。	・模試合場、部活公式戦会場等の提供を通じ、より広くキャンパスの魅力を伝える。 ・施設貸出(1・4・10号館及び全ての体育施設)に関する条件を整理する。

IV. 共立大日坂幼稚園

IV-1. 園児募集・園児確保

【長期目標】

教育課程・指導計画の改善・充実、入園者選考方法の改善等を通じて、十分な定員を確保する。

主となる委員会・会議	主となる事務局
入園考査関連委員会	—

【評価指標】①入園定員を確保する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 地域の特性を踏まえた園児募集と入試を実施する。	・近隣私立幼稚園の入試について資料を集め調査する。 ・定員に満たない年次は、積極的に転編入を受け入れる。
2) デジタル化を図り、入試業務における教職員の工数を削減する。	・志願者健康診断予約についてデジタル化を検討する。

【評価指標】②教育方針に共感する志願者を得るために適切かつ効果的な広報を展開する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 保護者への調査をもとに広報充実を図る。	・入園した保護者に幼稚園選びについて、共立大日坂幼稚園の認知経路についてのアンケート調査を実施する。
2) 共立大日坂幼稚園の教育内容が伝わりやすいパンフレットを作成、配布する。	・学年毎の様子と活動について、また園児の3年間の成長についてを文章や写真を用いて分かり易く伝えるための内容を検討する。
3) 入園後のイメージが伝わる情報を発信するホームページを作成し、運営をする。	・他園のホームページのコンテンツを調査する。
4) デジタル化に合わせた広報を展開する。	・幼稚園案内パンフレットのデジタル版を作成する。 ・イメージ動画作成について検討する。
5) 共立大日坂幼稚園の魅力が伝わるよう未就園児活動を活性化する。	・未就園児の参加型活動として、絵本の読み聞かせは12回、園庭開放は15回、体験入園は5回実施する。
6) 卒園児保護者と連携した活動を活性化する。	・卒園児保護者が未就園児保護者を案内する見学会を実施する。 ・園児募集に向けた意見聴取の場として、新たに卒園児保護者との座談会の開催を検討する。

IV-2. 教育改善・教育の質的向上

【長期目標】

園生活の中で、一人ひとりに応じた「リーダーシップの芽」を育むために組織的に協働し支援を行う。

主となる委員会・会議	主となる事務局
幼稚園教員会	—

【評価指標】①幼稚園教育要領に定義されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置き、主体的・対話的な学びの中で、一人ひとりの個性に寄り添いながら、「リーダーシップの芽」を育むための支援を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 園児の発達段階や年齢に応じた、教育を展開する。	・教育カリキュラムの内容について学期毎に点検する。
2) 友達、先生と協働的に取り組める環境、のびのびと園児が活動できる環境を整える。	・施設、園庭の環境整備について点検し、整備に向けた計画を立てる。
3) 園児の個性を教員間で共有し、一人ひとりに合った教育を展開する。	・新たに導入するアプリを活用し、園児一人ひとりの育ちを確認する。
4) 併設校と連携した教育を展開する。	・共立女子中学高等学校に連携活動プログラムについて提案する。

【評価指標】②「リーダーシップの芽」を育成するため、園内研修システムを構築し、実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 「共立リーダーシップ」を全教員が深く理解し、教育の質的向上につながる研修を計画し、実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・共立女子大学家政学部児童学科と園内研修を実施する。 ・複数年を想定した研修計画について検討する。 ・全教員で「共立リーダーシップ」について理解する機会を作る。 ・全教員が教育の質向上に繋がる外部研修に参加する。
2) 受講した研修内容を教員間で効果的に共有する方法を構築する。	・研修内容を共有する方法について検討する。

IV-3. 保護者との連携・協力

【長期目標】

園児が安心・安全に幼稚園生活を過ごすことができるよう、家庭と緊密な連携・協力を図り、子ども達の育ちを支える。

主となる委員会・会議	主となる事務局
園内研修検討委員会	—

【評価指標】①保護者とのコミュニケーションの中で把握した課題の改善を行い、その活動を発信することで、幼稚園と家庭が一体となる取組を進める。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 保護者との連絡をデジタル化し、利便性を高める。	・保護者との連絡ツールにアプリを活用した上で、意見を聴取する。
2) 保護者とのコミュニケーションで課題を把握し改善を図る。	・学年保護者会や学年親睦会を実施する。 ・園長懇談会を実施し園についての課題を把握する。 ・個人面談を年に4回実施するほか、必要に応じて面談を実施する。
3) 学校評価アンケートをデジタル化し利便性を高める。	・学校評価保護者アンケートをデジタル化する。
4) 「母の会」との連携を継続し、共立大日坂幼稚園の教育への理解と協力につなげる。	・「母の会」懇談会で教育について伝え、学校評価アンケートの教育に関する満足度を上げる。 ・「母の会」との連携年間計画を検討し、見直す。

IV-4. 管理運営

【長期目標】

「共立大日坂幼稚園ビジョン2032」の達成に向けて、教職員がリーダーシップを発揮し、地域社会等と連携しながら、戦略的かつ機動的な管理運営を行う。

主となる委員会・会議	主となる事務局
幼稚園教員会	-

【評価指標】①法人の経営課題や幼稚園の課題について教職員一人ひとりが迅速かつ正確に共有し、「共立大日坂幼稚園ビジョン2032」達成に向けて教職員一体となって取り組む。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) デジタル化による業務軽減に基づき、教育活動に取り組む時間を増やす。	・教職員の日常業務について洗い出しデジタル化を計画する。
2) 教員間の情報交換のスピード化を図り、定期的な打ち合わせを実施する。	・教員間の情報交換にも新たに導入するアプリを活用する。
3) 法人事務局との連携強化を図り、管理運営を検討する体制を整える。	・施設設備の整備について検討、改善を進める。

【評価指標】②文京区・地域・社会等からの共立大日坂幼稚園の教育活動に対する要請を把握し、適切な幼稚園運営に務める。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 社会的なニーズに対して迅速に対応するため、行政や近隣幼稚園との連携を密にする。	・文京区子育てフェスティバルに参加し、社会的なニーズを情報収集する。
2) 地域の要請に合わせた活動を実施する。	・未就園児活動についてのニーズ調査を実施する。

V. 共立女子学園

V-1. 財政

【長期目標】

共立女子学園の永続維持のため安定した財政基盤を確立する。

主となる委員会・会議	主となる事務局
財政運営会議	財務課

【評価指標】①予算の配分と執行管理を適切に行い、決算において基本金組入前当年度収支差額を収入超過にする。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 予算編成において経常収支差額を収支均衡予算とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度予算編成方針に基づき、収支均衡予算を策定する。 ・2024年度においても、中期計画達成のための予算2億円を確保し、各部署の教育活動充実に向けた計画に対し予算措置を行う。 ・共立女子第二中学校高等学校及び共立女子短期大学に対し、教育の質の維持向上に向けた活動を支援する。
2) 決算において基本金組入前当年度収支差額の収入超過を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経常的な活動において、予算執行管理を適切に行い、収入超過を維持する。

【評価指標】②中長期的な資金需要に基づいて特定資産の積立を計画的に行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 将来の建替更新に備えて毎年計画的に特定資産に積み立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度は耐震工事等による特定資産の取崩を予定しているため、繰入額との差引後に4億円を積み立てる。

【評価指標】③安定した財政基盤の確立のため適切に収入を確保する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 適切な学費を検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各設置校の収支構造や社会情勢を鑑みて、学費の検証を行う。
2) 共立女子大学・共立女子短期大学における補助金収入の増額を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度獲得状況のフィードバックと配分基準の検証を行い、担当部署に対し情報共有を行うことで、交付要件達成に向けた取組につなげる。
3) 募金事務室の体制整備及び寄付金額の増収を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい広報機会や趣意書と振込用紙の改定等を検討し、次年度の活動へ活かす。また寄付金収支状況の公表及び募金事務室の新体制の検討を行う。
4) 効率的な資産運用を行い、利息収入を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・資金運用委員会にて運用可能資産を見極め、投資を行い、利息収入1億円以上を確保する。

V-2. 組織・人材

【長期目標】

教職員一人ひとりが「共立リーダーシップ」を発揮し、やり甲斐を持って能力を生かし、活躍できる職場環境を整備する。

主となる委員会・会議	主となる事務局
学園将来基本構想委員会	人事課

【評価指標】①中長期的な総人件費管理を行い、「共立リーダーシップ」を発揮できる人材を確保し、適切な人員配置を行う。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) [適切な人件費管理]総額人件費の適正化に向けて教職員の定数管理を行う。	・教職員数の定数管理を徹底するとともに、収入における適切な人件費割合を検討する。
2) [採用]将来を担う若手人材の獲得、豊富な経験やスキルを持つ人材を確保する。	・現員の人員バランスを考慮した新卒・既卒採用を実施する。
3) [再雇用]豊富な経験やスキルを持つ人材を積極的に活かす。	・2024年度からの運用に向けて共立女子大学・共立女子短期大学の教員を対象とした定年再雇用制度を策定する。

【評価指標】②公平で透明性のある人事評価制度を確立する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) [人事評価]公平で透明性のある人事評価制度を全学的に整備する。	・被評価者及び評価者双方に対して人事評価制度の理解度向上を目的とした研修を実施する。 ・共立女子大学・共立女子短期大学の教員の人事評価制度検討のための情報収集を行う。

【評価指標】③新たな人事・給与制度を導入する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) [報酬]事務職員について職位・等級に応じた新たな人事・給与制度を推進する。	・人事評価結果を賞与に反映させる。 ・事務局の新たな給与制度案を作成し方向性を事務職員に提示する。

【評価指標】④全ての事務職員がそれぞれの「共立リーダーシップ」を発揮するために、必要な能力・資質を向上させるためのSDを実施し、自律的なキャリア構築や学び直しを促進する施策を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 新規採用者の育成システムを整備する。	・新卒者から入職後3年程度までの研修制度を再設計し実施する。
2) 各課業務の専門性を向上させる施策を整備する。	・専門性向上のための外部研修・履修プログラムへの派遣等支援の充実を図る。
3) 「共立リーダーシップ」を理解、発揮できるよう研修を実施する。	・職員版リーダーシップ開発プログラムを策定する。
4) DXに対応できる人材を育成する。	・ITパスポートの取得を推奨すると共に、AI・数理・データサイエンス講座の受講率を50%以上にする。

【評価指標】⑤働きやすい事務局の職場づくりのため、組織調査等で課題を可視化し、解決方策を推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 職場のコミュニケーションの活性化を図る。	・事務局内で対話の機会を増加させる取組を支援する。(朝会、横断的ミーティング等)
2) 多様な働き方や事務効率化を実現する。	・業務時間(残業時間)の適正化に向け職務内容の見える化を行う。 ・事務職員の在宅勤務制度の導入に向けて規程等を整備する。
3) 事務局の人員配置を最適化する	・人事情報のデータベース化を進める。
4) 教職員の健康診断やストレスチェックの受診率を100%にする。	・衛生委員会において受診率向上に向けた取組を検討し実施する。

V-3. 施設設備

【長期目標】

「リーダーシップの共立」を教育指針に掲げる学園にふさわしい、教育研究環境を整備し、新たな価値が創造されるキャンパスにする。

主となる委員会・会議 学園キャンパス整備検討委員会	主となる事務局 財務課 情報システム課
------------------------------	---------------------------

【評価指標】①中長期的な施設設備整備計画に基づき、計画的な修繕及び改修を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 各キャンパスにおける長期修繕計画を5年間で総額38億円とし、毎年度計画的に実行する。	・2023年度は、神田本館で空冷チラー、電話交換機の更新、1号館でリスニングシステムの更新、照明のLED化を予定している。本館が2023年度に竣工後20年、神田1号館が2026年度に大規模改修から20年が経過するため、それぞれで大型設備の更新が予定されている。大規模な更新が単年度に集中しないよう、残りの4年間の計画を検討する。

【評価指標】②神田一ツ橋キャンパスについて、グランドデザインに基づき再構築計画を推進する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 再構築計画を完成させる。	・2023年度と2024年度は再構築計画のうち、基本設計前の整備計画を策定する。具体的には高層棟の実現化に関する行政への事前相談やレイアウト案の作成、1号館の改修計画案、キャンパス全体の整備計画等を検討する。

【評価指標】③八王子キャンパスについて、必要不可欠な施設設備を確認し、施設設備整備計画に基づき整備する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 10号館(講堂)客席天井の耐震化を進める。	・現在進めている実施設計業務が完了したのち、2023年5月には公募による施工者の選定を行い、2023年7月から翌年2月までの予定で客席天井の耐震化工事を進める。
2) 11号館の解体と跡地利用計画を策定する。	・アスベスト調査の結果に基づいたアスベストの除去、及び地上からの大型重機による解体方法をベースに複数社による相見積もりを進める。また、解体後の利用計画を策定し、解体着手までの準備を進める。

【評価指標】④各研修センターについて、施設設備整備計画に基づき整備する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 研修センター軽井沢寮と河口湖寮の利用計画を策定する。	・アンケートの結果を踏まえ、利用しやすい施設設備への改修を検討する。耐震の必要がある軽井沢寮については、2024年度に実施できるよう工事の計画を進める。
2) 研修センター杉並寮の利用計画を策定する。	・教育での利用に限らず、地域の特徴を踏まえて土地と建物の活用計画を検討する。

【評価指標】⑤教育研究の質向上や教職員の業務効率化に資する情報インフラの整備・運用・改善を実施する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 各校での整備計画を策定する。	・各設置校と打合せを実施し、2027年度までのそれぞれの整備計画案を作成する。
2) 学園情報インフラとして最適化されたネットワークを構築する。	・月1回、利用状況調査を実施し、ネットワークのあり方の検討と改善活動を行う。
3) 学園全体のセキュリティレベルの向上を図る。	・2022年度まで実施しているセキュリティポリシー見直しの結果を踏まえ、新たなセキュリティポリシーの施行と、それに合わせたセキュリティ教育を実施する。
4) 共立女子学園のDXを推進する。	・DXによって変革可能な学園内業務を洗い出し、改善を行う。また、DXに関するシステムの調査を実施する。

V-4. 法人ガバナンス

【長期目標】

永続的な発展と成長に向けてガバナンスを発揮する。

<u>主となる委員会・会議</u>	<u>主となる事務局</u>
学園将来基本構想委員会	総務企画課

【評価指標】①ステークホルダーの信頼を確保し、教育研究活動の一層の推進を図るため、最適なガバナンス体制を確立する。

中期計画 アクションプラン	2023年度 事業計画
1) 私立学校法の改正を踏まえた管理運営体制を確立する。	・私立学校法の改正動向を注視し、趣旨を踏まえた寄附行為の改正等に対して適切な対応を行う。

3. 2023年度予算の概要

(1) 2023年度予算編成方針

学園ビジョン及び第三期中期計画に則った教育研究計画・業務計画を策定し、内示積算方式に基づいた2023年度予算編成を下記の方針で行う。

＜基本方針＞

○当該年度の学園に帰属する収入規模（学生生徒等納付金、寄付金、補助金、資産運用収入他）に応じた適正な支出規模となる収支均衡予算を策定する。

○個々の申請内容を精査して予算を配分し、事業活動収支において、経常収支差額を収入超過とする。

○資金収支において、翌年度繰越支払資金を確保しながら、計画に基づき特定資産への繰り入れを行う。

○新たな中期計画予算を確保して、各部門における教育研究活動充実のための取り組みを支援する。

2023年度では、ビジネス学部の学年進行等により収入の増加が見込まれるものの、電気料金の値上がりや大規模工事の実施等により、支出についても増加する見込みである。また、2023年度は学園の第三期中期計画の初年度であり、リーダーシップ教育にかかわる新たな教育研究活動を財政的に支援する目的で、中期計画予算及び学長裁量経費を増額した。

以上を踏まえ、事業活動収支の経常収支差額は、約500万円の収入超過とした。また、翌年度繰越支払資金約29億円を確保した上で、約4億円の積立を予定している。

(2) 資金収支予算（表1）

【収入】

＜学生生徒等納付金収入＞

ビジネス学部が完成年度となることを踏まえ、前年比約3億3,400万円増の約91億9,900万円を計上した。

＜手数料収入＞

約2億2,400万円のうち、入学検定料収入については、受験者数の状況を考慮し、前年比約1,600万円減の約2億1,100万円を計上した。

＜補助金収入＞

約19億5,600万円のうち、授業料減免費補助金については、修学支援制度対象者の増加により2,700万円増額しており、その他の補助金については、近年の実績額を見込み計上した。

＜その他の収入＞

約13億円のうち、特定資産の取崩収入で約11億2,500万円を計上した。

前年度繰越支払資金約33億400万円と合わせ、収入の部合計は約161億6,900万円となった。

【支出】

＜人件費支出＞

退職予定者と採用予定者とを加味して、前年比約2億3,800万円増の約66億8,000万円を計上した。

＜教育研究経費支出＞

前年比約5億2,600万円増の33億3,500万円を計上した。主な要因としては、電気料金の高騰により光熱水費を前年比約1億5,900万円増の4億1,700万円としたこと、建築・デザイン学部設置工事及び各所工事等の計画実施による。

＜その他＞

管理経費支出は、約6億7,200万円を計上した。施設関係支出は、八王子キャンパス10号館天井耐震補強工事等により約5億7,100万円となり、設備関係支出は、約3億4,200万円を見込んでいる。

特定資産への繰入支出は15億4,800万円を計上しているが、11億2,500万円を取り崩すため、積立額は約4億円を見込んでいる。

これにより、翌年度繰越支払資金は約29億2,100万円としている。

(3) 事業活動収支予算 (表2)

教育活動収支では、約1億1,000万円の支出超過となるものの、教育活動外収支と合わせた経常収支差額で、約500万円の収入超過を見込んでいる。また、特別収支では、約1,600万円の支出超過となる。これに予備費1億円を加え、基本金組入前当年度収支差額は約1億1,100万円の支出超過となり、基本金約4億4,000万円を組み入れ後の当年度収支差額は、約5億5,100万円の支出超過となる。

(4) 中期計画予算 (表3)

リーダーシップ教育につながる新たな教育研究活動に対し重点的に支援を行う目的で、2023年度より予算枠を2億円とした。各部署より申請のあった計画について、査定の結果、総額で約1億円を計上した。

表1.資金収支予算総括表

収入の部

(単位：千円)

科目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減
学生生徒等納付金収入	9,199,373	8,865,069	334,304
手数料収入	223,740	240,094	△ 16,354
寄付金収入	40,100	40,100	0
補助金収入	1,956,036	1,914,535	41,501
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	30,515	34,515	△ 4,000
受取利息・配当金収入	115,611	102,426	13,185
雑収入	256,913	173,524	83,389
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,374,000	1,394,245	△ 20,245
その他の収入	1,300,547	802,643	497,903
資金収入調整勘定	△ 1,631,435	△ 1,545,596	△ 85,839
前年度繰越支払資金	3,303,708	3,054,393	249,315
収入の部合計	16,169,107	15,075,948	1,093,159

支出の部

科目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減
人件費支出	6,680,403	6,442,537	237,866
教育研究経費支出	3,334,629	2,809,031	525,597
管理経費支出	671,711	686,689	△ 14,978
借入金等利息支出	0	1,667	△ 1,667
借入金等返済支出	0	83,330	△ 83,330
施設関係支出	570,500	154,730	415,770
設備関係支出	341,780	165,940	175,841
資産運用支出	1,548,000	1,567,000	△ 19,000
その他の支出	136,358	223,897	△ 87,539
[予備費]	100,000	100,000	0
資金支出調整勘定	△ 135,210	△ 122,300	△ 12,910
翌年度繰越支払資金	2,920,936	2,963,428	△ 42,492
支出の部合計	16,169,107	15,075,948	1,093,159

※2023年3月時点のものであり、その後補正によって変更が生じる場合がある。

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

表 2.事業活動収支予算総括表

(単位：千円)

	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減	
		学生生徒等納付金	9,199,373	8,865,069	334,304
教育活動収入	手数料	223,740	240,094	△ 16,354	
	寄付金	44,500	40,100	4,400	
	経常費等補助金	1,956,036	1,914,535	41,501	
	付随事業収入	30,515	34,515	△ 4,000	
	雑収入	256,913	173,524	83,389	
	教育活動収入計	11,711,076	11,267,837	443,239	
	教育活動支出	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減
人件費		6,729,813	6,664,109	65,704	
教育研究経費		4,384,431	3,926,711	457,719	
管理経費		707,318	713,423	△ 6,105	
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		11,821,562	11,304,244	517,319	
教育活動収支差額		△ 110,486	△ 36,406	△ 74,079	
教育活動外収入	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減	
	受取利息・配当金	115,611	102,426	13,185	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	115,611	102,426	13,185	
	教育活動外支出	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減
		借入金等利息	0	1,667	△ 1,667
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	1,667	△ 1,667		
教育活動外収支差額		115,611	100,759	14,852	
経常収支差額		5,125	64,353	△ 59,228	
特別収支	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減	
	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	5,500	5,500	0	
	特別収入計	5,500	5,500	0	
	特別支出	科 目	2023年度当初予算	2022年度当初予算	増減
		資産処分差額	21,657	20,400	1,257
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	21,657	20,400	1,257		
特別収支差額		△ 16,157	△ 14,900	△ 1,257	
〔 予備費 〕		100,000	100,000	0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 111,032	△ 50,547	△ 60,485	
基本金組入額合計		△ 439,986	△ 352,122	△ 87,864	
当年度収支差額		△ 551,018	△ 402,669	△ 148,349	
前年度繰越収支差額		△ 5,025,359	△ 5,316,089	290,729	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,576,378	△ 5,718,758	142,380	
(参考)					
事業活動収入計		11,832,187	11,375,763	456,424	
事業活動支出計		11,943,220	11,426,310	516,909	

※2023年3月時点のものであり、その後補正によって変更が生じる場合がある。

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

表3.中期計画予算

(単位：千円)

部門等	長期目標	事業内容	予算額	
大学・短期大学	I-2	教育・研究	GSEプログラム推進事業費(国際学部)	2,000
			海外研修充実(国際学部)	1,380
			看護シミュレーション教育の開発・実施(看護学部)	547
			教育活動支援の充実(看護学部)	4,010
			学部新設に伴うシンポジウム(建築デザイン・学部)	1,850
			2コース制を活かしたICT教育の充実(生活科学科)	53
			短大生のキャリア教育の充実・強化	1,578
			リーダーシップ開発	3,497
			英語教育の充実	5,807
			情報教育に関する計画	2,772
			特色ある教育内容等導入のためのコンサルティング	3,190
			履修登録2期化のための履修登録システム設定支援	275
			I-3	国際化
	I-4	学生生活	国際社会に対する関心を高める取り組み(国際学部)	2,075
	I-5	学修支援・授業支援	入学前教育およびリメディアル教育の実施	9,498
	I-6	キャリア形成支援	SPI対策講座及び模擬試験実施等による就職支援の充実	3,256
			自己理解支援ツールによるキャリア支援の充実	12,860
			短大キャリア支援	1,758
			教職協働によるキャリア形成支援	480
I-7	社会連携・貢献	リカレント教育の充実	400	
I-8	ブランディング・広報	「リーダーシップの共立」社会的認知拡大	3,400	
		オープンキャンパス満足度促進費	1,500	
		高大連携強化	1,300	
中学高等学校	II-1	入学者受入れ	生徒主体の学校PR	2,500
	II-2	教育改善・教育の質的向上	英語ライティング、スピーキング指導の充実	5,060
			生徒会及び教職員向けリーダーシップ研修	300
			総合的な探究活動の充実	5,745
			補習補助	700
			リーダーシップ教育活動支援	6,407
	II-3	生徒指導・進路支援	中高における海外研修充実	4,150
			中高進路指導・キャリア形成の充実	1,400
進路指導・キャリア形成の充実			1,100	
第二中学高等学校	III-2	教育改善・教育の質的向上	英語ライティング、スピーキング指導の充実	1,260
幼稚園	IV-2	教育改善・教育の質的向上	教育内容充実	65
学園	V-2	組織・人材	事務組織改編のための従業員満足度調査の実施	1,500
			新人事・給与制度の構築	4,600
総計			99,889	

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

リーダーシップを
発揮する人生か、
そうでないか。

リーダーシップの共立

共立女子大学
共立女子短期大学
共立女子中学高等学校
共立女子第二中学校高等学校
共立大日坂幼稚園